

平成二十五年二月から
平成二十五年三月の出来事

セカンドライフセミナー開催 主催・金秀グループ総務委員会

平成二十五年二月七日(木)金秀グループ総務委員会主催による「セカンドライフセミナー」が当社三階研修室で行われました。定年退職を迎える社員を対象に、定年後の「第二の人生」スタートに向け、今後の生活に必要なことや退職後の社会保険、気になる年金のあらましや手続き方法などを分かりやすく説明、また研修終了後には個別での相談会も実施していました。



一日の研修ではありましたが、受講された方の中には「一定年後の事をあまり考えていなかったからさう、この研修を通して、色々な事を知る事が出来たよ。もらった資料を参考にしながら、セカンドライフを計画していきたいさう。参加してよかったよ」との感想も。今回の研修では当社から多くの家族が参加され、中には家族で参加される方もいらっしやいました。

平成二十四年度 永年勤続優良従業員表彰式 主催・那覇商工会議所

平成二十五年二月二十六日(火)かりゆしアーバンリゾート・ナハにて「永年勤続優良従業員表彰式」が行われました。当社からは新垣昌信さん(軽金)・新里利宏さん(鋼建)の二名が表彰されました。



表彰式では緊張した面持ちでしたが、式典終了時には笑顔で記念撮影に参加していました。お二人とも賞状を見て、改めて受賞を喜びを噛みしめていました。受賞された新垣さん、新里さん、おめでとうございます。

軽金事業部 新垣 昌信
鋼建事業部 新里 利宏

消防訓練開催!



消防班による初期消火訓練中

平成二十五年二月七日(木)毎年恒例の消防訓練が行われました。今回の出火想定場所は「軽金事業部事務所」。訓練ではありますが、消火栓からホースを出し、初期消火班が消火活動を行っている間に緊急放送を流し、誘導班がすばやく、従業員の皆さんを避難場所まで誘導するなど各担当の迅速な連携で無事、避難訓練を終えました。また、消火器実践訓練では多くの方が積極的に参加してくれました。当日は、東部消防の方よりご指導いただきました。



カラーコーンを火元とみだて消火

平成二十五年年度 「沖縄県泡盛同好会新春の集い」開催

平成二十五年二月二十七日(水)ロワジュールホテルにて沖縄県泡盛同好会新春の集いが行われました。同好会会長でもある呉屋守将グループ会長の呼びかけでグループ各社からも数多くの愛好会の方々が集まり、会場内では泡盛の話で盛り上がりつつありました。



会場中央にはたくさんの泡盛が並び、様々な味を堪能する事が出来たり、新商品の試飲コーナーや泡盛利き酒大会なども開催されていました。

利き酒コーナーでは、気軽に参加でき、皆さん真剣な表情で味を確認していました。古酒のオークションでは三年物や十年物古酒が次々と落札されていきました。また、抽選会では五升壺の泡盛の賞品などがあり、番号が発表されるたびに会場では大きな歓声が起こっていました。アルミでは「賞品当たったら、泡盛の女王と写真撮るから準備しててよ」と予言していた呉屋常務がみごとに賞品をゲットしていました。



念願の泡盛の女王とハイチーズ♪

金秀アルミ工業株会報誌 アルミの絆

うりずん号(第三刊)

平成二十五年六月発行

新年度挨拶



社長 呉屋 守将
取締役 呉屋 昌信
代表取締役 呉屋 昌信
平成二十四年度も終わり、四月から新しい年度を迎えました。旧会計年度は大変お世話になりました。事務を深く御礼申し上げます。

四月からは弊社も新たな経営計画に基づき、今期の目標を達成すべく営業や製造に緊要感を覚えています。私共も、金秀アルミ工業として、今年度も「県内唯一! サッシ形材製造」を会社のキャッチフレーズとして社外へのアピールに更に力を入れて参ります。社内的には、品質保証管理室開発部を新規に設け、お客様からの多様なニーズにこたえられるようメーカーとしての開発体制を強化するとともに、製造に支障が生ずることのないよう各大型製造装置のメンテナンスについても万全の態勢を整えます。

また、国の方針で消費税率が平成二十六年四月から八%に、更に平成二十七年十月からは十%へと二段階で引き上げられる予定になっております。こうした消費税率増税を控へ、今年は住宅やマンションを建てる人が増えることが予想されます。増税後の反動減も予想されますので、今年度は取りこぼすことがないよう皆様と共に知恵を絞って頑張ります。

就任挨拶



取締役 呉屋 昌信
常務取締役 呉屋 昌信
会長 呉屋 昌信
会報誌「アルミの絆」第三刊をご紹介します。愛読の皆様、新任の御挨拶を申し上げます。

金秀建設株式会社に入社以来二十八年目になります。今年度四月から金秀アルミ工業株式会社に転籍してきました。工事現場監理からスタートし、工務・営業・設計と、建築全般を経験させてもらいましたが、製造メーカー、専門業種としては初めての業界勤務ではありますが、当社には金秀建設株式会社の先輩であり、川満専務をはじめ、顔見知りの社員も多く、早々に馴染めると思います。又、一般社員の皆さんとの名前と顔を早く覚える様頑張りますので、気軽に声を掛けて貰えれば、助かります。鋼建事業部営業担当役員として、建築全般の経験を生かした営業と共に、木造サッシの販売及び新規商品の営業展開に取り組み、業績の改善に貢献していきたいと思っております。

自己紹介として
出身地・久米島 年齢・五十六歳(百年)
趣味としてはゴルフを少々
(独特のゴルフスイング理論で楽しんでます)

入社式・始業式

平成二十五年四月一日(月)、入社式及び始業式が行われました。入社式では新入社員五名が緊張の中、全社員の前に、紹介されました。引き続き、始業式が行われ、辞令交付式が行われました。初めに「役員委嘱状交付式」が行われました。



握手を交わす呉屋社長(右)と川満専務(左)

専務取締役 川満 彦三
常務取締役 比嘉 治彦
取締役執行役員常務 呉屋 昌信(新任)
取締役執行役員常務 呉屋 昌信
名 屋 宜 宣 夫
清 文



今回、金秀建設(株)より当社へ転籍し、常務取締役へ就任された眞榮平常務が新任の挨拶が行われました。

☆昇格者に対する辞令交付式☆

課長	部長代理
新垣 司(鋼建)	岸本 哲治(軽金)
柴田 尚秀(鋼建)	稲福 健司(軽金)
安座間 修(軽金)	
中山 啓(管理)	係長
知念 修(軽金)	瀬長 一郎(軽金)
呉屋 守康(品質保証)	津波古 直哉(軽金)
泉川 直子(軽金)	奥儀 直(軽金)
	主任
	神里 宏一郎(鋼建)

これまでの各事業部長が行っていた経営計画を今回は呉屋社長自ら説明を行いました。社員の皆さんは、今年一年の会社方針等に真剣な面持ちで聞いていました。

社員一丸となって金秀アルミ工業(株)を盛り立てて行きましょう!



新入社員特集



品質保証管理室 健一 加藤

入社前に「社会人として自律できるのか」「きちんと仕事が出来たか」と不安に思っていました。



鋼建事業部 朝仁 大田

卒業したばかりで、高校までの経験が役に立っていません。特に両親のおかげで様々な経験を



鋼建事業部 優美 田里

高校の頃と違い、様々な人とコミュニケーションをとる「ルール」や「マナー」、「仕事に対する責任感」等が

でも、これからはアルミの加工や会社の業務など一つ一つ覚え、自分の「糧」になるように努力していきたいと思っています。また先輩方からたくさんのお話を聞いて頂きたいです。早く仕事を覚えていきます。ご指導、宜しくお願いします。

私も三月に高校を卒業したばかりです。高校までは多くの事を両親や周りの方から教えてもらっていましたが、特に両親のおかげで様々な経験を

必要になります。その中で私が一番大切にしたのが「責任感」です。「責任を負う」というのは簡単な事ではありませんが、「責任を任される事への誇り」や「責任を果たした時の達成感や喜び」などは自分自身を成長させる事へとつながると思っています。もちろん責任感だけでなく、社会人としてのルールやマナーを守り、仕事へのやる気や目標を持ち、一日でも早く仕事を覚えるよう日々努力して頑張ります。これから宜しくお願いします。



軽金事業部 正斗 上原

学生から社会人になると考えた時「新しい生活が待ち遠しい」という期待と「仕事を覚えているのか」という不安な気持ちでした。



鋼建事業部 永士 石川

私は高校の時に金秀アルミ工業の工場見学をきっかけに様々な事に興味を持ち、新しい技術を磨きたいと考えてるようになりました。



鋼建事業部 優美 田里

高校の頃と違い、様々な人とコミュニケーションをとる「ルール」や「マナー」、「仕事に対する責任感」等が

しかし、「何事も経験する事が大事だ」と考えているので、難しい仕事も積極的に覚えていこうと思っています。一日も早く多くの仕事を覚え、会社へ貢献出来るような立派な社会人になる為精一杯頑張っていきます。宜しくお願いします。

また部活では自転車競技部に所属し、日頃から心身を鍛えてきたので、「体力と忍耐力」には自信があります。努力を怠らず、一日でも早く仕事を覚え、会社へ貢献していきたいと思っています。ご指導、宜しくお願いします。

新入社員は入社式を迎えるまでに「入事前説明会」等にも参加しております。次に彼らのこれまでの歩みを取材！

「ものづくり産業振興フォーラム」開催



平成二十五年三月八日（金）、沖縄県主催の「ものづくり産業振興フォーラム」がかりゆしアーバンリゾート・ナハで開催されました。パネルディスカッションでは、九州工業大学情報工学科機械情報工学科教授の鈴木裕氏をコーディネーターに、共栄エンジニアリング（株）代表取締役の安部佳照氏、（一社）日本金型工業会前会長で大垣精工（株）代表取締役の上田勝弘氏、

沖縄県金型技術研究センター長・（一社）ものづくりネットワーク沖縄理事長の金城盛順氏、（公社）沖縄県工業連合会専務理事の桑江修氏、そして当社の呉屋守章社長をパネリストに、「沖縄のものづくり、今までのこれからの」を議題に討論が行われました。そこでは、「県内企業や人材で協力し、より高度なものづくりを目指す今だからこその、積極的に展開したい」と等と様々な意見が出ていました。

労務管理セミナー 主催・金秀グループ総務委員会



講師：比嘉 正人 社会保険労務士（外間経営労務管理事務所）



真剣な眼差しの参加者



真剣な眼差しの参加者

平成二十五年三月十五日（金）金秀グループ総務委員会主催による「労務管理セミナー」が当社三階研修室にて行われました。当社各社から給与担当等が出席、当社からも2名が参加しました。労務に関する知識を分かりやすく、事例をあげながらの説明に皆さん、熱心に耳を傾けていました。



西原町役場の現場の様子

金秀グループ安全衛生大会

主催・金秀グループ安全衛生委員会

平成二十五年三月九日（土）、ばかばか陽気の中、金秀グループ安全衛生委員会主催の安全大会が開催されました。今回は「子供たちが主役」という事で多くの子供たちが参加していました。写生場所は現在建築中の西原庁舎。みんな、真剣な眼差しで絵を書いていました。提出された作品は六月下旬に行われる予定の「金秀グループ安全大会」にて掲示されます。

企業説明会に参加してきました。

平成二十六年度採用予定者を対象に企業説明会が行われ、金秀グループから六社が参加しました。当社も参加、各社に負けないように会社概要等を就職活動中の学生に説明しました。中山管理部長はグループ概要の説明等、アルミの事を熱弁。学生の皆さん、中山部長の話が面白かったのか、笑いがあったり、「ここ重要」という場面ではメモを取ったりと和やかな雰囲気で行った中山部長の話術とイベント取材も兼ねて参加した私もたくさん勉強させられました。中山部長が説明している間、学生からの質問には、私、城間が対応しました。終了後は面談カードの整理！今回、アルミ希望者は二十四名でした。当社の希望者を増やしていきますように頑張っていきます。



どんどんアルミをPRしていきますよ！



金秀グループ合同入社式



平成二十五年四月一日(月)エリスリーナ西原ヒルズガーデンで「合同入社式」が行われました。各社での入社式を終え、初めてグループ同期との顔合わせにもなります。

また金秀グループウオークソンでは一人も・この日は緊張の連続です。

金秀グループ合同研修会



合同入社式が終了後、早速、研修会がスタート。

まずは金秀グループの歴史や概要を金秀鋼材(株)玉那覇健治参加が講義。

休憩をはさんで、ビジネスマナー研修！(株)海邦総研の安田ひろみ氏を講師に実践を交えながらのビジネスマナーが行われました。

平成二十五年金秀グループ新入社員ウォークソン

毎年恒例行事の新入社員ウォークソンの季節がやってきました。西原の金秀鉄工から恩納マリンビューパレス迄の三・ハキを歩き、同期との「絆」を深めながら完歩を目指します。



出発前に準備運動や諸注意等の伝達が行われ、いざ出発！

途中では清掃活動も行われ、普段、通り慣れた道にも目を凝らせば、多くのゴミが散乱。

参加者全員で拾い集めた結果、多くのゴミを回収する事ができました。



両手にゴミ袋！みんなの頑張りで見えな歩道へ生まれ変わりました。



沖縄三和シャッター様ありがとうございます。

心より感謝申し上げます。

☆いよいよ感動のゴール☆

長かった道のりも同期の励みや沿道の声援等のおかげで完歩する事が出来ました。

当社から参加した五名の新入社員もみごと「完歩」しました。



上原 正斗(左から3番目)

石川 英士(左端)



山城 健一(右端)



田里 優美栄(右端)



太田 朝仁(右から2番目)

参加した新入社員の皆さん、"完歩おめでとう"ございます。

金秀グループ 各社視察研修

新入社員ウォークソンの翌日(四月十二日)には各社視察研修が行われました。



金秀グループ発祥の地「金秀グループ発祥の地」で、歴史の重みを感じる瞬間



金秀アルミ工業視察の様子
今年度よりワイヤレスイヤホンを導入しました。



金秀鉄工視察の様子

金秀グループ内定者説明会



「沖縄の産業まつり」で大活躍した山城くんと上原くん

当初の内定をもらい、最初に行われた研修が平成二十五年二月十五日(金)の「グループ内定者説明会」でした。

内容は「四月から行われるグループ研修日程」など、五名は初めての研修参加に緊張した面持ちで説明に耳を傾けていました。

金秀アルミ工業(株)入社前説明会

金秀グループの内定者説明会から約一ヶ月後の平成二十五年三月十五日(金)に「入社前説明会」を開催しました。

今回は、四月から着用予定のユニフォームの配布や総務提出書類の内容確認、就業規則の読み合わせ等が行われました。

その後は管理部の中山部長による「金秀グループ」の説明会も開催されました。



提出書類内容の確認中！



中山部長による金秀グループの説明



いよいよ本番の時、それぞれの氏名が呼ばれ、初めて全社員と対面！百四十名あまりの人数に少々、驚いたようでした。

♪次に辞令交付へ♪

この時に初めて所属部署が分かる瞬間！どんな研修が待っているのか五名はドキドキ！



書類を見ながら記入箇所を確認！



各担当からの説明が終了し、やっと五名の緊張が解けたようでした。

今回の研修は三月十五日(金)に決定！この日から社会人に向けての準備もスタート♪



入社前説明会も無事終了！あとは四月一日(月)の「入社式・始業式」を待つばかり♪

それぞれ社会人に向け、期待と不安もあると思います。

当日、凛々しく出社する彼らが楽しみです♪



辞令交付の際は、呉屋社長と堅い握手をし、改めて「社会人」としての自覚を感じたようでした。

この後、いよいよ「社会人になった抱負」を述べる時がやってきました。

それぞれ一言一言を噛みしめ、全社員の前で宣言していました。

今後の彼らに期待です。

秀和会研修会・総会及び懇親会

平成二十五年四月十二日(金)、金秀アルミ工業(株)三階研修室にて秀和会研修会・総会及び懇親会が開催されました。
研修会では琉球銀行リスク統括部次長・久田友彦氏を講師に招き、「売掛金回収セミナー」が行われました。



セミナーの内容は「滞留が資金繰りに与える影響」「どうやって回収を意識するか?」等、盛りだくさんの内容でした。
参加した方の中には、「内容証明の書き方等、分からなかった所が今日の研修で少しだけ理解出来るようになった」との感想も。

研修終了後、総会へ

知花会長進行の下、総会が始まり、平成二十四年度の事業内容報告や収支決算報告及び

☆総会後、懇親会へ☆

懇親会では、初顔合わせの方もいたり、名刺交換会なども行われたりしました。談笑も弾み、和やかな雰囲気の中、終了しました。



工場見学用

ワイヤレスイヤホン導入!

平成二十五年四月から「ワイヤレスイヤホン」を工場見学用には導入しました。これまで工場内ではハンズフリーで工場見学の音で説明が聞きづらかった部分がありましたが、今回、改善策として、「ワイヤレスイヤホン」を導入する事になりました。イヤホンを通して、聞き事が出た、音量も見学者が調整出来る事、工場見学の強い味方になる事、間違いなし!



導入して初回の工場見学の後、入場者までバッチリ聞こえていました。

会報誌ネーミング決定!



軽金事業部 部長 安座間 修 氏



☆表彰式の様子☆
素敵なネーミング、ありがとうございます。あざま おさむ

創刊号より「会報誌ネーミング」を応募していましたが、多くの応募がありました。応募して下さった皆さん、ありがとうございます。今回、多数の応募作品から軽金事業部・安座間修部長の「アルミの絆」に決定しました。
「会社の社員をつなぐ新聞になってほしい」という思いが込められたネーミングになっていきます。編集局もその思いに応えられるよう努力して参ります。



編集局だより

金秀アルミ工業(株)でも新年度、新体制がスタート! 会報誌ネーミングが決定。そして初めての発行になります。また今回は通常よりも三ページ増やして皆さんへお送り致します。また今年度、当社でも五名の新社員の加入が予定されています。その中でも先達達の指導の下、日々頑張っています。その中でも「新入社員特集」を組む事にしました。初顔合わせになった二月の「金秀グループ内定者説明会」の時、密着取材を敢行しました。そして四月には緊張の「入社式」や「ウオーカソン」各社視察研修やまでの様子等をまとめて紹介していきます。

♪「社会人」として数ヶ月♪

この会報誌を読んで頂く頃には、それぞれが少しずつ成長している事を感ずると思います。期待しています。個性豊かな五名の今後の頑張りに期待しています。

編集局・城間久美子

